



山田ひときの略歴  
文化団体“やまと四季探訪”主宰

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得



- 平群町議会 議長
  - 総務建設委員会 委員
  - 財政検討特別委員会 委員
  - 下水道事業特別委員会 委員
  - 駅周辺整備事業特別委員会 委員
  - 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
- 奈良県後援会平群支部長

# 山田ひとき

平群町議会議員 ◆ 後援会会報

発行/山田ひとき後援会  
広報部  
令和2年1月31日発行  
〒636-0932  
奈良県生駒郡平群町西宮2-6-21  
Tel.0745-45-4845 FAX0745-45-4727  
メールアドレス hitoki@m4.kcn.ne.jp

## 『令和の時代』を迎えて

『令和』となり初めての新年を迎えました。

若い世代が『定住したくなるまち』『活力あるまち』を目指すと共に、新しい平群町の歴史と時代を切り開いていくため、覚悟と希望を持って一歩一歩確実に歩んで行かなければならないと思っております。

しかし、平群町の財政状況は決して明るい現状とは言えず、まだまだこれまで以上に厳しい見通しとなっており、（詳しくは2面に掲載）

議会と行政が一丸となり、この難局を打開していかねばなりません。



本年4月には文化センター（写真）が完成します。全ての住民が憩える空間として、親しみと愛情をもって利用できるような活気あふれる施設になってほしいと願っています。

そのためにも、駅前広場と共に多くの方々に親しんで頂ける工夫も必要であると思っております。

## 近鉄生駒線 平日の朝夕1時間4本運行に



2019.12.23 近鉄本社への陳情。取締役常務らが応対

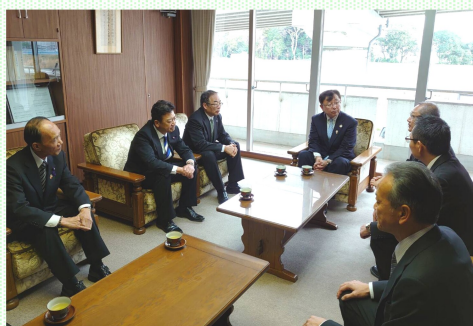
12月議会にて全議員賛成の上決議された『近鉄生駒線1時間4本運行の再開を求める決議』としての要望書を提出するため、昨年12月23日、西脇平群町長、森三郷町長、高岡三郷町議会議長と共に近鉄本社を訪問し、要望書を提出してまいりました。

近鉄側からは、取締役常務執行役員をはじめ、運輸部長他2名の方々に対応頂き今後の検討課題とすることを、お約束頂きました。

その結果、本年1月16日、近鉄本社より、運輸部長他2名の方々が三郷町役場へ来庁頂き西脇平群町長、森三郷町長、高岡三郷町議会議長と私、山田の4人に対し、勢野北口駅・竜田川駅



2019.12.23 近鉄本社への陳情で「議会決議」を手渡し



2020.1.16 三郷町役場で近鉄の運輸部長らから申し入れの回答を頂く

間の崩落個所の復旧工事が完了し徐行運転が解除される事を前提として、以前と同様の総本数の復活とまではいかないが、平日に限り、朝夕の1時間4本運行の再開及び生駒発王寺行の最終電車の発車時刻を少し遅らせ、現在午前0時00分生駒着の難波発特急に連絡するような方向で社内決定の上、それに向け現在、関係機関と調整中である旨の御返答を頂きました。

その言葉を伺い『私どものまちづくりにとっても近鉄電車との関係は密接で大変重要な要素でもあるため、大きな前進であり、大変ありがたいことです』と感謝を申し上げました。

私は昨年末、議長として、年内に要望書の提出を行う事が重要かつ必要であるとの考えから、日程調整を若干強引に進めた部分もありましたが、御多忙の中、御同意・御同席頂いた西脇町長はもちろん、森三郷町長、高岡三郷町議会議長のおかげも大きいと感謝申し上げる次第であります。



# 町の財政状況

昨年8月発行の私の会報第33号にて『本年2月5日の議員全員協議会（私は失職中）の中で町より新たな説明があり、このままの状況が続けば令和3年度末には4・7億円、令和4年度末には約7億円、令和5年度末には10億円近い赤字財政状況となる財政シミュレーションが公表されました』と掲載しましたが、その後、平成30年度の決算確定後の昨年10月の議員全員協議会において、町より今後の財政見通しが報告され、4年後の令和5年度末には、約5・3億円、5年後の令和6年度末には約

8億円近い赤字財政状況である修正見通しが説明されました。

これは、平成30年度決算がこれまで以上の職員一丸となった意識改革等に伴う、人件費も含めた歳出の抑制努力等により、当初の決算見込みより



2019. 11. 16 議会報告会

財政状況が改善できたことや、地方交付税等の収入が増加したことも含めた後年度の見通しが改善できたことにより財政状況見通しが好転したという結果となりました。

しかし、尚不確定ながら駅前事業の終結の為の保留地が事業計画の金額で売却できない場合の実売却金額との差額約2億円を平群町が損失補てんとして町財政で負担する必要も生ずる可能性が依然、現実として十分予測されず。

そうなると、令和5年には早期健全化団体（イエロー団体）、令和6年には財政再生団体（赤字再建団体）になってしまう可能性があるという厳しい状況は未だ続く現状です。

## 視察・研修



昨年10月7日、想定外の地震や豪雨による災害に見舞われた際の対応として、昨今全国各地で取り組みをされている中、先進的に取り組まれている兵庫県南あわじ市へ、業務継続計画（BCP）について研修に行つてまいりました。

ひとたび災害が発生したとき、議会は機能を失い、時には議員個々がそれぞれの使命感と地元地域の災害対策、復旧復興に一生懸命になりすぎるため、災害対策本部にとつて足をひっぱる邪魔な存在になる事もあるという災害地事例より、『議会として、議員として』住民の安全・安心を守る一助となるためにも適切な対応、行動をとる手法を全議員にて共有していく必要がある事から、議長を中心とした「災害対策【支援本部】」を設置し、各議員の安否確認を行うとともに、町災害対策本部からの災害情報を共有し、議員からの災害情報を収集・整理し、災害対策本部に提供するシステムを構築するというものです。

今後、平群町に即した行動指針としてマニュアル化し、対応できる体制も作っていく必要があると考えています。

## 行事・集会



2019. 11. 3 文化祭・自治功労者表彰式



2020. 1. 13 成人式



2019. 11. 10 主産物共励品評会表彰式



2019. 12. 29 年末警戒



2019. 12. 14 総代・自治会長会議



2019. 11. 12 全国議長会（国会視察）